



## カーギルサプライヤー行動規範

### 世界の繁栄を支援するための当社の取り組み

カーギルの目的は、安全で、責任のある、持続可能な方法で世界を豊かにすることです。世界の食糧システムを支えるサプライチェーンは持続可能でなければならず、今日のニーズと次世代のニーズとのバランスをとる必要があります。こうした目的は、サプライヤーパートナーとの緊密な協業によってのみ達成できます。サプライヤー行動規範には、当社と協業してこの目的を達成するために農業従事者、生産者、製造業者などに期待される内容がまとめられており、倫理および適用法を遵守した内容になっています。

### カーギルのガイディングプリンシプル

カーギルの 7 つのガイディングプリンシプルは、全世界での当社の活動の基盤となるカーギルの全従業員に適用されるものです。これらと同じ原則は、サプライヤー行動規範を通じて、サプライヤーパートナーにも遵守することが求められます。倫理および言行の一致を共同して確立することは、信頼できるビジネス関係の強固な基盤であり、それによって共有の価値が創造されると考えています。

#### 1. 法律の遵守

責任ある企業として法律を遵守する姿勢は、世界中のサプライヤーパートナーにも共有することが求められます。

サプライヤーパートナーには次のものが期待されます。

- 各自およびその事業活動に適用される法律を理解しそれに従うこと
- 最低限の基準として法的な要件を遵守すること
- 提供する商品やサービスに関する重要な問題はすべてカーギルに報告すること(特に健康や安全に関する問題)。カーギルが各地域の規制に遵守するのにこうした情報が役立ちます。

#### 2. 言行一致のビジネス

当社は、信頼、透明性、および相互責任に基づいたビジネス関係を求めています。

サプライヤーパートナーには次のものが期待されます。

- カーギルの事業では公正かつ倫理に即して競争すること
- カーギルの事業に関連して、賄賂やキックバックなどの不適切な贈答品および、接待その他の不適切なインセンティブは提供も受領もしないこと
- 当社の従業員との間で、不適切と思われる金銭的な利益その他の取り決めに関連する利益相反は避けること
- 各自のサプライヤーと協業して、ここでの規範の原則に即した事業活動を促進すること

#### 3. 正確で誠実な記録の維持

サプライヤーパートナーには、正確で誠実な記録の維持が期待されます。責任あるビジネス上の意思決定を行い、ステークホルダーに正確かつタイムリーな情報を開示するのにこれらの情報が役立ちます。

サプライヤーパートナーには次のものが期待されます。

- すべての取引についての帳簿と記録の管理を正確、誠実かつタイムリーに行うこと
- 製品、食品、飼料の安全性、労働者の安全衛生、労働および雇用などについて、適切な品質監査およびコンプライアンスのプロセスを適用すること
- 要請された場合は、施設の場所および原料の生産地に関する既知の情報を開示して、トレーサビリティを可能にすること

#### 4. 業務上の責務の遂行

当社が協業するのは、ビジネス関係の構築という命題を共有できるサプライヤーパートナーです。これには、誠実な意思疎通、相互の尊重、コミットメントの遂行が要求されます。

サプライヤーパートナーには次のものが期待されます。

- 当社のコミットメントを共有して、ビジネスを誠実かつ透明に遂行すること
- ビジネスでの義務を遵守し、不測の出来事に対してはタイムリーかつオープンな方法で積極的に管理すること

## 5. 人々への尊厳と敬意をもった対応

当社の製品やサービスの提供は、各自の才能を活かして勤勉に働く従業員があつてのものであり、これらすべての個人の安全、幸福、尊厳を優先させる姿勢は当社のサプライヤーパートナーにも求められます。

サプライヤーパートナーには次のものが期待されます。

- すべての事業活動において、安全かつ健康的な労働条件を提供すること
- 国際労働機関 (ILO) に規定された、人身売買、強制労働、児童労働などを利用も容認しないこと
- ハラスメントや差別のない包括的な職場環境を育成すること
- 組合の結成や団体交渉を行う従業員の権利を尊重すること
- 報酬および労働条件に関して、すべての法的要件を満たすこと

## 6. カーギルの情報、資産、利益の保護

カーギルの評判および、当社からサプライヤーパートナーに委託された情報や財産については、その保護が求められます。

サプライヤーパートナーには次のものが期待されます。

- 知的財産、企業秘密、財務情報など、アクセス権が与えられたカーギルの機密情報を保護すること

- カーギルの管理下にあるすべての財産を保護すること
- ビジネス上の利益や評判に悪影響を及ぼす危険性は回避すること

## 7. 世界市民としての責任の自覚

安全かつ責任ある持続可能な方法で世界を豊かにするにはサプライヤーパートナーによる支援が必要です。

サプライヤーパートナーには次のものが期待されます。

- 厳格な基準の維持により、製品、食品、飼料の安全性を向上すること
  - 森林破壊の抑制、温室効果ガス排出量や廃棄物の最小化、資源利用の効率化などを通じて、環境負荷の低減に努めること
  - 事業活動における水使用量の最小化、企業活動に起因した汚染の回避、周辺地域の水資源への影響の低減により、水資源を保護すること
- 先住民族コミュニティが権利を有する資源などについては、十分な情報が提供された上での自由で、優先的な、インフォームドコンセントの原則を尊重すること
- カーギルとの協業により、持続可能なプロセスの導入および問題の解消を進め、継続的な改善および社会的価値の追求をすること

## 信頼できるパートナーシップについての目標

ここに示した 7 つのガイディングプリンシプルに従う倫理的なサプライヤーパートナーとの信頼関係を築くことが当社の目的です。サプライヤーパートナーには、情報、認定、監査に関する合理的な要求への協力が期待されます。何らかの懸念が生じた場合、当社の方針としては、サプライヤーパートナーと協業して対処することを旨としています。改善点の特定に当社が貢献できることもあるでしょう。ただし、問題が解消不可能な場合ないしは、サプライヤーパートナー側に貢献する意思がない場合、関係を終了する権利を当社は保有するものとします。

当社とサプライヤーパートナーとの緊密な協業関係の確立は、双方の利益となる行為であり、コミュニティや世界の繁栄にも貢献できると信じています。

詳細については [www.cargill.com/supplier-code](http://www.cargill.com/supplier-code) を参照してください。サプライヤ規範に抵触する可能性がある行為や業務慣行について質問や疑問がある場合は、カーギルに直接ご連絡ください。次のいずれかの方法により、懸念事項の上申や支援の申請が行えます。

- 担当のカーギル代理店に連絡する。
- Cargill Ethics Open Line に連絡する。連絡先およびその他の詳細情報は <https://www.cargill.com/about/ethics-open-line-en> に、20 か国以上の言語で用意されています。

迅速に当社と連絡を取ることは、問題の事前防止だけでなく、すでに発生した問題の解決にも有用です。報告されたすべての内容は、可能な限り機密性を保持したうえで、迅速かつ公正に処理されます。